

HEART NEWS

2019年11月1日発行

Vol. 40

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



インペラ(IMPELLA)とは先端に軸流ポンプを装着したカテーテルを経皮的に大腿動脈もしくは鎖骨下動脈から左室内に挿入し、その軸流ポンプを用いて左心室内から大動脈に血液を汲み出すことで、低下した自身の心ポンプ機能を補助する装置で、急性心筋梗塞や劇症型心筋炎など、急激な心機能の低下に伴う心原性ショックに対し使用します。

朝夕めっきり冷え込む時候となりましたが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

当院でも急性心筋梗塞症や不安定狭心症などの急性冠症候群が徐々に増加しています。8月から導入したインペラ（IMPELLA）補助循環用ポンプカテーテルの使用もようやく定着してきたように思われます。

今回は、インペラ（IMPELLA）補助循環用ポンプカテーテルの概要と心臓血管外科部長村上貴志先生から心臓外科手術の際のインペラ（IMPELLA）の使用経験を報告させていただきます。

今後も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) も是非ご覧ください。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長

循環器内科部長

成子 隆彦

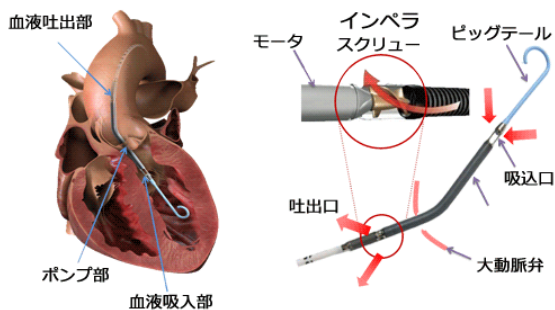
インペラ (IMPELLA) 補助循環用ポンプカテーテル

循環器内科 部長 成子 隆彦

インペラ (IMPELLA) は、非常に小型のポンプをカテーテルで左心室の中に入れることで、循環補助が可能となる新しい機械です(上段)。2004年からヨーロッパで、2008年からアメリカで承認を得て販売が開始され、既にヨーロッパ・アメリカでは広く普及しており、日本でも2017年9月から導入開始され、すでに142施設が実施施設として認定されています。これまでの循環補助デバイスの問題点が改善され、重症の急性心筋梗塞、重症心不全の急性増悪、劇症型心筋炎を含む様々な心臓病の治療成績が改善する可能性があります。

当院でも2019年6月28日付けで施設認定を取得し、市内2施設目の導入となりました。7月には、循環器内科、心臓血管外科、集中治療センター、救命救急センター、麻酔科、小児循環器内科、小児心臓血管外科、臨床工学士と関連部門の看護師らとトレーニング講習(中段)を行い、8月からいち早く導入しました。導入後、低心機能患者の心臓外科の術後や心原性ショックを伴った急性心筋梗塞症に対して計7例に使用しています。さらに、従来の補助循環であるECMO(経皮的心肺補助装置)のみで、左心不全がさらに悪化する際に、IMPELLAとの併用(ECPELLA)も積極的に行っています(下段)。

最先端の医療機器を使いこなし、世界水準の治療をこの地域の皆様に還元することを使命と考えています。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	中達/占野 (ペースメーカー)	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川 (肥大型心筋症)	成子
	占野(ペースメーカー)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)		松本(TAVI)

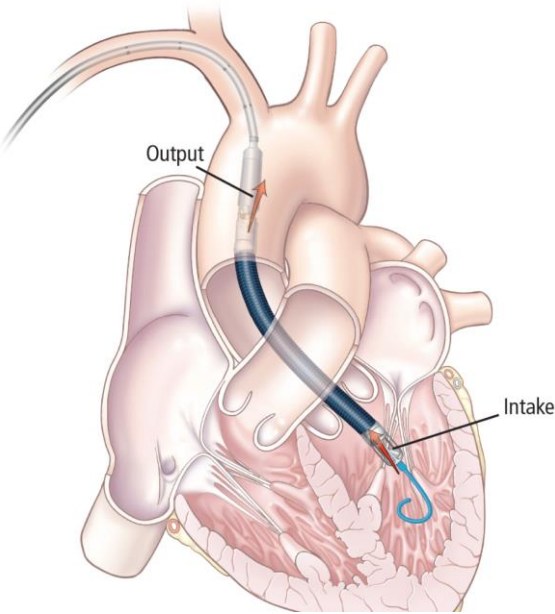
IMPELLA (経皮的補助人工心臓) の衝撃

心臓血管外科部長 村上 貴志

本年より、経皮的補助人工心臓、**IMPELLA**を導入しております。

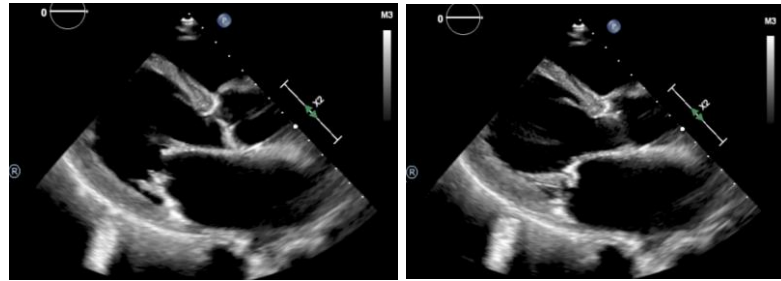
従来の補助人工心臓は、開胸して心尖部から脱血、上行大動脈から送血を行っていました。**IMPELLA**は、経皮的に、大腿動脈や腋窩動脈から挿入される人工心臓です。左心室から吸われた血液は上行大動脈へ送り出されます。

右腋窩動脈より挿入されたIMPELLA

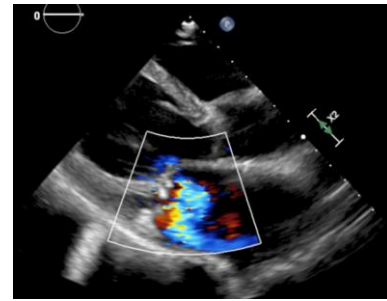


症例

診断：僧帽弁閉鎖不全症、心筋症



術前心エコー
LVDd/Ds 58/53
LVEF 19%
Severe MR



このように、LVEFが30%以下の心筋症、僧帽弁閉鎖不全症では、手術をしても救命が難しいと考えられていました。**補助人工心臓**は、従来のIABPやPCPSよりも強力な循環補助が得られ、また左心室の負荷の軽減効果があることで、左心室機能の改善が期待できます。

本症例は、僧帽弁人工弁置換術後、**IMPELLA**による48時間の補助の後、離脱に成功。現在外来通院中です。LVDd/Dsは44/38、LVEF 38%に改善しました。

IMPELLAという強力な治療手段がまたひとつ得られ、救命率の向上が期待できます。

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	下肢静脈瘤外来	尾藤
午後	青山	村上	阪口	青山	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

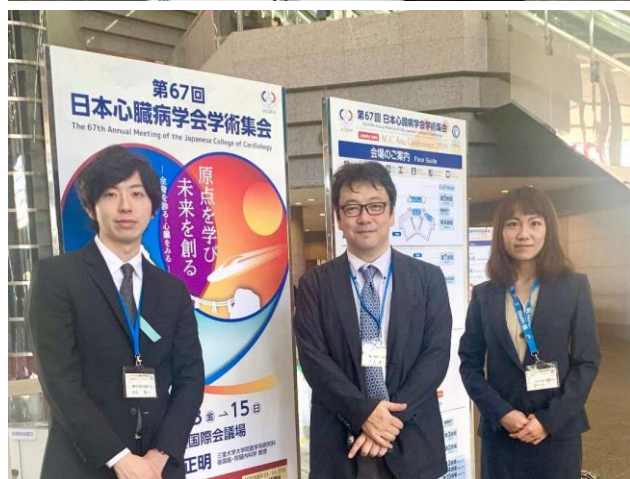
平日 8:45~20:00

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

上段は大阪で開催された日本内科学会近畿地方会に参加した藤澤医師（左）と岡田医師（右）の写真です。藤澤医師のみならずまだ1年目の研修医である岡田医師も、とても立派に発表してくれました。下段は名古屋で開催された日本心臓病学会学術集会において、発表を終えた中達医師と野村医師とともに（左）、そして教育委員会企画“physical examinationを学ぶ”において光栄なことに同セッションと一緒に講演させていただいた当センターOB板金広先生とともに（右）、それぞれ撮影した記念写真です。

当センターでは、臨床や研究の成果を院外に発信して広い意味で医療に貢献することができるように平素から努力しております。しかし、院外で学んだことを持ち帰って患者さんや地域医療のお役に立つことが最大の目標です。今後ともご支援をお願い申し上げます。（循環器内科副部長 阿部）



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受け取ることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。